

HEADLINE

表

1. センター試験が終わりました
2. 高等予備校紹介

裏

3. 今回のがんばる生徒紹介
4. 高等予備校講師紹介

編集後記

～ご挨拶～ 2017年から 文理だより 高等予備校版 編集長の 伊東 信之 と申します。よろしくお願いたします。
 これまでの文理だよりに負けないように、情報を発信してまいりますので、何かありましたら、ホームページ ブログ「高等予備校 唐瀬校」
 のコメント欄からご意見をいただけましたら幸いです。

Topic1

センター試験が終わりました。国公立に限らず、私立受験にも幅広く使われる「大学入試センター学力試験」。

本年度の受験者は全国で約57万人。各教科の傾向分析等は他に譲るとして、1, 2年生の皆さんにいつも思うことをお伝えします。

【1】 2日間という受験日程、何が起こるか分からない。最後まで諦めてはいけない。特に、新課程から1日目が文系科目、2日目が理系科目という流れができました。緊張感を切らすことなく、2日間を全力で取り組むことはとても大切だと思います。日頃から集中力を高めるトレーニングをしっかり行いましょう！

【2】 **2年生の皆さん**。本年度の残された2か月、センターに向けて取り組み始める内容の確認と、しっかりとした計画、実行を！！ その際、注意してほしいのは**不確実な情報を都合よく受け取らない**ということです。

次のような話、聞いたことありませんか？

「理科は3か月集中してやれば身につく。」「偏差値は当てにならない。」などなど……。人間は、情報を都合よく理解する傾向が強いと思います。特に切羽詰まっていなくて、軽く考えます。

「理科は3か月集中してや……」▶その3か月はいつ作るつもりですか？3年生はとても忙しい。理科に集中できる3か月を3年生になってから作ることは不可能に近いと思いませんか？「気合いだよ。」という声も聞こえてきそうですが……。3年生で特に力を入れる科目は、多少の個人差はありますが、ズバリ「英語」と「国語」です。センター試験でも得点率の約5割を担うこの2科目は、時間をかけて取り組まなければなりません。時間がかかるのです！だから、3年生になるまでの2か月をしっかりと使うのです！

「偏差値は当てに……」▶断言します。統計的に有効な数字なので意味はあります。このコメントが出回った経緯として考えられるのは、

①「今、偏差値が高くても、これを維持できなければ意味がない。」という謙虚な姿勢の受験生のコメント。

②（言葉を選びません。）きちんと取り組まない生徒の負け惜しみ。

確かに、注意すべき点があります。大切なのは「偏差値の推移」です。中堅から上位大を目指す生徒さんは、進研模試（ベネッセ）の結果が十分な資料になります。最難関大は「駿台模試」や「大学別模試」を指標にしますが、進研模試はとても大きなデータで、十分活用できます。受け止める勇気を持ち、対策に役立てよう！

【3】 **1年生の皆さん**は、よく聞いておいてください。

3年生になるまでの14か月、中だるみをしただけで、大学ランクを2～3つ下げなければならなくなります。まだまだ、学校の授業は新出の教科書内容が続きます。中だるみの傾向として最も多いのは、「わからないことを放っておくようになる。」という行動パターンです。もっと言えば、「わからないことがあっても気にならなくなる。」という思考に陥ることです。すでに見られる傾向で、文理学院でも講習や、時機を見た補講が組まれています。これは、今後ぜひ活用してください。とにかく日常で解決する姿勢が大切！！

【4】 番外ですが……。現在中学生の皆さん、皆さんが大学入試をするときは、センター試験廃止等のはざまの時期（移行期間と言います）に突入します。どのようなシステムに飲み込まれても、負けない学力を身につければなりません。そのためには、大学入試は今、すでに始まっていると言っても過言ではありません。高校受験に向けて取り組み、勝負をして、高等予備校へ進級してください。第一志望合格に向けて、新たな旅立ちに全力で協力します。

まだ始めていなければ、今から始めましょう、受験勉強。

始めていたら、もう一度見直そう、計画と実行。

Topic2

高等予備校紹介 記念すべき第1回の校舎は「静岡地区 富士宮駅南校」

校舎長 内田 秀樹 先生。200名以上の高校生が元気に通う校舎です。

講師陣は、英語は内田校舎長と深澤先生、数学は柏木先生と田中先生、国語は荒川先生、理科は加藤先生というスタッフです。

とにかく、生徒管理の徹底をテーマにした校舎で、高等予備校の校舎長が全員目標にする校舎です。

余談ですがこの校舎、小中学部の先生も個性の強い先生が多く（というか、文理には個性的な先生が多すぎる？）、小中学部の校舎長である岡本先生をはじめとして、小中高の垣根なく校舎にいる講師全員で生徒を見守っているという雰囲気のある校舎です。

これが生徒が安心して勉強できる環境の大きな要因かもしれません。小中学部の先生方いつもありがとうございます。

そんな駅南の ホットな ホットな ホットすぎる話題を……お届け！

通う高校生は、富士高・富士宮西高・星稜高など様々。今年のセンター試験の英語(筆記試験)の結果を見ると……

センター試験
英語(筆記)の平均点
124点 程度
の見込みです

クラス	クラス平均点	ちょっと一言
E3B(英語3年ベーシッククラス)	95点	ここまで伸びる！苦手でもがんばる集団でした。
E3S(英語3年スタンダードクラス)	135点	国公立大を目指す最低ラインの60%を目標にがんばってくれました。
E3H(英語3年ハイレベルクラス)	179点	去年は163点。今年もやってくれました！

自習室はいつも満員。音読部屋では、英語や社会の暗記のためにつぶやく生徒で溢れている、そんな校舎です。

国公立の合格者は、毎年35名以上。その原動力となっているのがこの英語なのでしょうね。

Topic1 の内容と合わせて、英語の重要性はご理解いただけましたか？そんな内田校舎長の口癖は下記のとおりです。

音読できずに英語はできない。自分の声を自分の耳から入れよ。

あいまいな英文法では受験は勝てない。反復を丁寧に、しっかりと！

文理学院

高等予備校では
いつでも

本当に
いつでも

- ・ 進路から学習まで、お悩みがあればなんでも「保護者面談」
- ・ 悩める生徒の「進路・学習相談」
- ・ 生徒の「個別学習指導」

受け付けております

遠慮せず

ためらわず

ぜひ

お電話ください

小中高問わず、通ってくれている生徒が皆さんがんばってくれているので、この生徒！と決めるのはとても難しいのですが、今回は編集長の独断で2名のがんばりやさんを紹介します！その2名とは、唐瀬校の「H高校に通う1年、M.MさんとK.Fくん」です。

■M.Mさん■ 静岡市 県立H高校1年生 女子生徒 ・卓球部（校外活動も活発） ・将来の道のために文系に進んだ元理系
これだけなら、「どこにでもいるでしょう」と思うかもしれませんが、すごいのはとにかく隙間の時間を一生懸命使い勉強しているということです。その使い方が素晴らしいのです。一週間のスケジュール管理をしたことから判明したのですが、M.Mさんは校外活動でも卓球に取り組んでおり、通常は一週間のうち自由になる時間は全部で20時間程度（部活動は最近何かと話題は多く、否定的な意見もありますが・・・）。時間差はあっても、この限られた時間の中で勉強している生徒さんは多いと思います。このM.Mさん、本人と保護者様には怒られそうですが、決して要領よく勉強できるタイプとは言えない生徒さんです（本当にごめんなさい）。ところが、ここからがすごいのです。持って来る質問や内容を見ると、「いつの間にこんなに取り組んだのか？」と思えるほど取り組んでいるのです。しかも身につけていることがとても多く、質問事項も整理されています。予想でしかありませんが、20時間程度自由になる時間のうち15時間以上は勉強時間に充てていると思います。ここでの取り組みが、数か月後とても大きな力になるであろうことは予想できます。つまり「効率的な学習の準備段階にいる」と言えるのです。正に自分の能力開発中といった感じの生徒さんです。

■K.Fくん■ 静岡市 県立H高校1年生 男子生徒 ・弓道部 ・将来の目標を持つ理系
ここまで忙しいのか？というくらい弓道部は忙しく、文理に通う弓道部の生徒はいつも“自分と戦っている”状態、と本人談。「休みたい、楽をしたい。」という“自分の弱さ”と常に戦っています。そのため、時間があれば自分を律するために自習室に来て、学習時間を確保します。ときには保護者様が心配するほどです。「うちの子は大丈夫でしょうか？」とやり取りすることも少なくありません。そんなとき、私たちが注視しているのは“K.Fくんの目”です。目に力があるうちは大丈夫です。それは、本人の意志だからです。K.Fくんは物静かで、とにかく口数は少ない。でも、一つひとつの言葉には“はっきりとした意志”を感じ取ることができるのです。将来の目標はパイロットになること。この目標こそ、本人がいつでも自分を奮い立たせ、疲れに負けず、行動が一貫できる人間としていられる原動力なのだと思います。

皆さんの周りにも、こういう生徒さんはたくさんいますよね。「すごいなあ」と思ったら即行動です。三日坊主も2回繰り返せば6日間。5回繰り返せば半月です。若い人には失敗はつきもの。めげずにやりましょう。文理の先生が応援します。私だってもっとがんばっている！という生徒さんもたくさんいますよね。次号以降でどんどん紹介したいと思いますので、ぜひ、先生に申し出てください！

夢を語り、追いかけてよう！それが若さの特権です！

そして、応援してくれる家族に、周囲に感謝を！

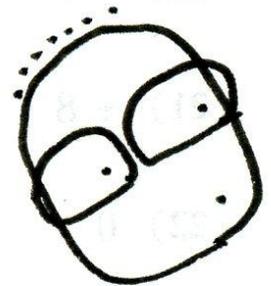
第1回の今回、紹介する人はずっと前から決めていました。現在、山梨県郡内地区で指導している数学科の **杉本 純一 先生**です。生徒だけでなく、多くの文理の先生が尊敬する重鎮です。

どのような先生か・・・多少の誇張もありますが・・・

- ・生徒のために人生を賭けていると言える生徒思いな行動。これは本当にすごい。「杉本先生を見習おう！」は高等予備校講師の合言葉です。
- ・夜中に隙間の時間を見つけてラーメンを食べに行くので基本まるい。今後は健康面も考慮していただき、控え目に。
- ・生徒対応もそうですが、とにかく責任感が強く、最後まで責任を持って仕事に取り組む社会人でもあります。
- ・あの笑顔と人柄で調整能力も抜群です。人に何かお願いすることも少ないのですが、「じゅんじゅん(杉本先生のこと)に頼まれると断れないよね。」という言葉をとときどき耳にします。
- ・文理に勤務すること19年、まだまだがんばってもらえる元気いっぱい先生です。

そんな杉本先生から、メッセージを・・・

高校生にとって、一番大切なことは、目的・目標をもって毎日過ごすことだと思います。
将来の夢や、目的・目標のない人は、目の前のこと(授業でも、課題でも、掃除でも...)を一生懸命やりましょう。
それを続けていけば必ず自分の夢が見つかります。そして、笑顔が増えます。
私の夢は、夢をこっとん応援することです。(杉本)



■ブログには各校舎の情報満載！スケジュール、講師のつぶやき、自分勝手なメッセージ・・・

校舎ブログをホームページからチェックしてください！

■第一志望合格のために、スタッフ一同全力で生徒を応援します。悩みは一人で抱え込もうとせず、いつでも、なんでも相談してください(生徒の皆さんも、保護者様も)。

3月は受験対策基本・年度仕上げ講座でスタートダッシュ！

無料体験授業は各校舎随時受付中です！

編集後記

記念すべき、新刊第1号を入院しながら作成することになるとは・・・

人生本当に何が起るかわかりません。こんなとき思ったことは、

- ① どれほど周囲に迷惑をかけて生きているか
- ② 周囲に感謝すべきことがこれほどあるとは
- ③ 誰かの役に立たなければ

の3つ。生徒にもうまく伝えたいと思う今日この頃です。 い

静岡市に3校舎目の文理学院
小中学部 中原校 3月開校！